

不祥事根絶のための校内ルール

本校教職員は、日頃から学校教育に携わる者として、コンプライアンスを意識し、行動に責任を持ち、教育活動に専心しています。

しかし、残念ながら県内外の教職員全員が同じ意識を持っているとは限らず、一部の教職員による不祥事が起こる度に、教育並びに教育公務員に対する信頼が失墜することは誠に遺憾です。本校教職員は、互いを信頼し合い、誇りを持って教育に取り組む教職員集団であり続けていきたいと強く願っています。

そのため、今後も本校に勤務するすべての教職員が共通認識のもとで行動し、不祥事が生じることがないように、不祥事根絶のための校内ルールの明文化と、内容の共通認識をいたします。

【1】生徒の個別指導に関すること

- ・可能な限り複数人で対応する。また、入り口の扉を開けておくなどの対応をする。
- ・セクハラ、パワハラ等につながらないように言動に注意する。
- ・電話、メール、SNS等による私的なやりとりをしない。

【2】個人情報の取扱い等に関すること

- ・個人情報を含む情報資産は、持ち出しをしない。やむを得ず持ち出す必要がある場合は、情報資産に係る持出記録台帳へ記載するとともに、適切な取り扱いをする。
- ・電子メールを送る場合には、TO・CC・BCCを適切に使用する。また、誤送信を防ぐために、可能な限り複数名で、送信前に確認する。

【3】交通に関すること

- ・緊急の救急業務以外では、生徒を自家用車へ同乗させない。
- ・飲酒する場合は車を使用しない。車を使用している人には飲酒を勧めない。また、自動車等を翌日運転する場合は、過度な飲酒を避ける。
- ・交通法規を遵守し、交通事故を起こさない（遭わない）ように気をつける。もし、事故を起こしてしまった場合には、冷静に判断し、適切な処置をとる。誠意ある行動をとるように心がけ、その後、速やかに管理職へ報告する。

【4】校内の環境整備に関すること

- ・校内の物品を整理・点検し、破損した箇所はすぐに修繕を行う等、校内の環境整備に努める。
- ・日々の清掃時以外にも、複数の担当者により、教室等の安全点検を定期的を実施する。

【5】校内外の相談・連絡体制に関すること

- ・教職員や生徒が相談しやすい環境を整える。
- ・校外の相談窓口（茨城県HP「青少年と保護者のための相談窓口一覧」）を案内する。
- ・生徒が安全・安心な生活が送れるように、警察や地域の機関等と連携する。

【6】生徒・教職員の防犯意識の向上に関すること

- ・生徒が自分の身を守る力を身に付けることができるように、様々な機会を捉えて防犯教育を実施する。
- ・教職員に対し、「One IBARAKI」等を活用した研修を実施する。
- ・教職員は、年に1回「不祥事防止のためのチェックリスト」を利用して、自己点検を実施する。

令和6年9月6日

茨城県立水戸商業高等学校長 広戸 純